

議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

2026年
第83号

令和8年11月1日発行



シリーズ

いつでも元気に！ひまわりの全
グラサントゴルフの魅力

地域の担い手を守るために
担い手農業者機械等
導入支援事業

一般質問
10議員が市政を問う！！

商工会産業まつり

CRO×SPO東温の スケートボード場の料金を設定

都市公園条例の一部改正



スケートボード場現在の整備状況（10月7日時点）

問 競合施設もできてきているが、集客面で心配はないのか。

答 本施設には管理人が常駐し、初心者向けの指導等にも対応することや、コースについても初心者から中級者向けであることから、子どもたちを中心に数多く利用していただけるものと考えている。

スケートボード場使用料（東温スポーツフィールド）

	区 分	単位	使用料
専用利用	全面	1 時間	5,000円
個人利用	18歳以上の者（高等学校等に在学する者を除く。）	1 回	400円
	18歳未満の者及び高等学校等に在学する者	1 回	200円

問 インストラクターを雇用するのか。

答 技術指導等も含め、管理人を置く業務委託を予定している。

問 市外利用者は5割増しとの規定があるが、市内・市外はどのように確認するのか。

答 利用の流れとしては、最初に利用者登録をする際に、身分証により市内・市外や高校生等の該当の有無を確認する。登録後、券売機で利用券を買って入場していただく。

「健康日本一推進課」に課名変更

食育推進会議条例の一部改正



「健康日本一推進課」窓口（10月1日変更）

反対討論 渡部 勇次



「健康日本一」を掲げているのに、その評価指標が明確になっていない。課の名称を変更することによるコストや負担に見合った成果を期待することはできないので反対する。

問 「健康推進課」を「健康日本一推進課」に改める理由は。

答 政策の一つとして健康日本一のまちづくりを掲げており、第3次総合計画に基づき、「健康推進課」を、「健康日本一推進課」に改正しようとするもの。

問 「日本一」を冠することで、担当課の施策や体制はこれまでどう変わるのか。

答 愛媛大学医学部附属病院等の3病院と締結した協定に基づき、専門家の知見を生かした新たな事業を取り入れていく。また、体制面でも、健康推進課内に新たに政策部門（係）を設けることを検討している。

問 「健康日本一」を掲げるに当たり、健康寿命等に関して先進県を上回るなどの明確な指標や目標値は設定されているのか。

答 特定の県を上回るというよりも、健康寿命を限りなく平均寿命に近づけるという理念であり、総合計画等に掲げる既存の目標値の達成を目指すものである。

一般会計補正予算

7650万円

（累計196億1098万円 前年度同期比10.3%減）



本会議の動画はこちら
から視聴できます。

9月 定例会

第4回東温市議会9月定例会が8月28日から9月17日まで21日間の会期で開催されました。

今定例会では市長提案の一般会計予算等（報告1件、承認1件、補正予算3件、条例改正7件、認定7件、その他2件）の合計21議案を審議しました。

寄附で予防接種負担を助成

各種予防接種事業

28万円

RSウイルス抗体製剤の任意投与に係る保護者負担分の助成に要する経費



6か月未満の乳児と妊婦への投与（イメージ）

問 RSウイルス抗体製剤を全国に先駆けて実施することになった経緯は。

答 学習会への参加等を通じて抗体製剤の投与に意義が認められたことから、実施体制の構築を図ったものである。

問 東温市医師会による寄附の理由は。

答 保護者の自己負担を無料にするため、寄附の申し出があった。

子育て支援業務を移管

部設置条例の一部改正

教育委員会保育幼稚園課が所管する「子育て支援係」及び「こども家庭センター係」の業務を市民福祉部に移管

問 なぜ、10月1日に組織再編を行うのか。

答 第3次総合計画に沿った政策的なものである。子育て分野を重点的に進めるため、一刻も早くという趣旨で行うものである。

水道基本料金を減免

水道基本料金減免に係る費用

2107万円

水道基本料金減免に要する経費



10月、11月分減免

問 水道基本料金減免の具体的内容は。

答 既に実施している水道基本料金の減免について、もう1期分（10月・11月使用分）延長して減免を行うもの。

問 全市民に平等に軽減できるのか。

答 本市の令和7年度決算ベースで、行政区域内人口32,493人に対し、給水人口31,661人、率で97.4%になるので、概ね平等に軽減できると考えている。

問 基本料金の減免で収入できない金額は21,067千円になる。収入の一般会計負担金は16,479千円で、一般会計については国の交付金で充当される。その差額についてはどうなるのか。

答 その他特別損失の21,067千円は、水道基本料金の減免となる金額である。収入の16,479千円を差し引いた4,588千円は水道料金で賄うことになる。ただし、各課において臨時交付金事業を実施し余剰金が発生した場合は、不足する部分について3月補正予算で補填する予定である。また、余剰金が4,588千円に満たない場合は、一般会計で負担するか水道料金で賄うことになるが、財政状況を見て判断することになる。

令和 8 年 9 月定例会提出議案

報 告

報告 7 令和7年度健全化判断比率及び資金不足比率

専決処分

承認 4 下水道事業会計補正予算（第1号）
6 ページ参照

補正予算

議案67 一般会計補正予算（第3号）
4, 6 ページ参照
議案68 水道事業会計補正予算（第1号）
4 ページ参照
議案69 下水道事業会計補正予算（第2号）
6 ページ参照

条例改正

議案70 部設置条例の一部改正
4 ページ参照
議案71 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
議案72 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案73 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案74 乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案75 食育推進会議条例の一部改正
5 ページ参照
議案76 都市公園条例の一部改正
5 ページ参照

その他

議案77 愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務の変更及び規約の変更
議案78 愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更

認定（令和7年度決算）

認定 1 一般会計歳入歳出決算認定
認定 2 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
認定 3 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
認定 4 令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定
認定 5 吉久工業団地特別会計歳入歳出決算認定
認定 6 水道事業会計決算認定
認定 7 下水道事業会計決算認定

決算審査特別委員会を設置

令和7年度の予算執行状況を審査するため、9月定例会において、議会選出の監査委員を除く14人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。
今議会において、認定に付された一般会計・特別会計・企業会計は、議会閉会中の継続審査とします。
審査概要については、次号に掲載予定です。

決算審査とは？

市予算が本来の目的に沿って無駄なく使われたかを審査するだけでなく、その事業によって市民の暮らしが便利・豊かになったかという「具体的な成果」までしっかりと確認することです。

賛否が分かれた議案

議案	浜田 瑠華	高須賀啓治	森田 和幸	渡部 一恵	大西 良也	高須賀広一	小島 建三	大西 正之	永井 大介	渡部 勇次	亀田 尚之	細川 秀明	丹生合美雄	相原真知子	安井 浩二	議決結果 (賛成：反対)
議案第75号	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	—	○	○	○	×	可 決 (10：4)

○賛成 ×反対 議長（亀田 尚之）は採決に加わらない。 上記以外は全員賛成。

川内浄化センターの最終沈殿池を改修・更新



2系最終沈殿池の更新工事に要する経費（専決）
8824万円

問 メーカーやメンテナンス事業者の対応は。
答 維持管理業者、メーカーともに確認し、今後、仕様書等の改善が必要か検討したい。

1系最終沈殿池の改修に要する経費（補正）
8981万円

問 最終沈殿池の駆動装置のメーカーは特定のメーカーだけなのか。
答 別メーカーで全部更新することになると金額がかなり高額になるので、今のメーカーの資材を使うようになる。
問 川内浄化センターの最終沈殿池が3池ある中で、2池を専決処分と補正予算で修繕対応しているが、残り1池(3系)と、重信浄化センターの最終沈殿池の状況は。
答 川内浄化センターの3系及び重信浄化センターの最終沈殿池に関しては、現在、ストックマネジメント計画による更新計画を策定中である。その中で適切な時期に更新することで市の金銭的な負担は減少すると考えている。

生産力強化を支援

野菜花き等生産体制強化支援事業 **878万円**

野菜・花き産地の生産体制の強化に対する助成に要する経費



いちごハウスを設定温度に自動換気する装置



里芋のうね立てとマルチシートを敷設する作業機

問 補助対象として里芋といちご用機械が選ばれた理由や、採択された12名の選定基準とはどのようなものか。
答 県の野菜・花き振興計画に基づく重点振興品目の生産拡大等を支援するため、農協に事業要望を確認した。里芋といちごの機械・施設の整備計画が出されたので、県に要望を上げ、内報を受けた。12名については、農協が要望を受け選定した者で、内訳として、里芋関係が9名、いちご関係が3名である。

枝物類の産地発展を支援

観賞用枝物類産地支援事業 **200万円**

観賞用枝物類の生産拡大等に係る種苗費等に対する助成に要する経費



ユーカリ



スモークツリー

問 今回、JAえひめ中央とJA松山市、2つの農協から34名が採択されているが、このように多くの申請が出された背景は何か。
答 水稻と複合経営が可能なことや、軽量で女性や高齢者でも取り組みやすいことから、県の枝物類の令和5年の出荷量が全国第3位を誇る産地として急成長している。一方で、園地の老朽化による生産性の低下や苗木の生育不良等が課題となっており、解決に向けて県がこの事業に力を入れて取り組んでいるためと考える。

問 麦作の現状及び位置付けは。

答 令和7年度産は17経営体が229haで作付けし、主食用米との二毛作の主要作物に位置づけている。

問 麦作が抱える課題は。

答 収量・品質・収益性の向上が最大の課題である。

問 地域計画における麦作の将来像と、農地集約は。

麦作の課題及び今後の展望は



おおにし よしなり 大西 良也 議員



問 地域の合意形成を図り、計画の実現を目指す、大区画化など土地改良事業を推し進めたい。

答 麦作の品質向上に向けた方法は、関係機関と連携し、麦作の栽培技術の普及について推進したい。

問 市産麦の利用拡大と商品開発は。

答 物産展PRや学校給食での活用、さらに日本食品標準成分表への掲載を機に、全国的な利用拡大を期待している。

問 市産麦を地域ブランドとして育成していくには。

答 フォーラム等の成果や新情報を積極的に取り入れ、麦のブランド化に結び付けていきたい。

東温カントリーエレベーターの機能強化による農業振興は

問 施設の機能強化と担い手支援の位置づけは。

消費税減税に伴う農業経営への影響は

問 農業者への情報提供や相談体制の整備は。

答 国の動向を注視し、関係機関と連携して農業者が戸惑わないよう万全の支援体制を整える。

問 農業経営の安定と発展へ向けた市の方針は。

答 担い手確保やスマート農業を進め、関係機関と連携した農業経営の安定への総合的施策を展開する。（農林振興課長）



黄金色に輝く裸麦の圃場

問 令和7年度に実施した企業立地ニーズ調査の結果は。

答 事業用地の購入の意向があると回答した企業は12社、必要となる面積の合計最大は約18haとなっており、一定の立地ニーズがあることが確認できた。

また、将来的に事業所の新設や移転の計画がある企業が55社確認され、数年後の潜在的な企業ニーズについても確認できた。

南方産業団地の課題と展望は



ほそかわ ひであき 細川 秀明 議員



問 市街化区域の一体化を促すための南方産業団地の役割と、波及的効果に向けての課題は。

答 この団地は、通勤等に便利で人材の確保についても有利な候補地になっている。周辺地域における地元就職の促進とのマッチングができれば、地域全体が産業拠点としての発展に期待がかかる。

また、地域の若者が安心して働ける雇用環境が整うことにより、就職を機会にした市外への転出の減少、定住人口増加による空き家等の減少、日常の消費活動による地域の活性化といった波及効果に期待している。

問 国道11号と県道松山川内線の幹線道路が交わるエリアについて、地区計画等の導入による展望は。

答 愛媛県などの許認可機関との調整

飼いのいない猫ゼ口に向けて

問 交通事故などでの命を奪われた猫の数量推移と地域の実態は。

答 直近3カ年の実績では、令和5年度が97件、令和6年度が110件、令和7年度が83件となっており、例年、約100件前後の死骸回収を行っている。こうした情報提供の多くは、交通量の多い県道沿いの市民や道路通行者からいただいている。（環境保全課長）



南方産業団地の核となる川内IC

9月定例会
一般質問

**10議員が
市政を問う!!**



各議員の枠内にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。

一般質問は、令和8年9月1日、2日の日程で行い、10人の議員が質問し市長などに答弁を求めました。

一般質問とは？

定例会において、議員が市に政策を提言したり、施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり、疑問を質問したりすることです。

議会インターネット中継

市のホームページで議会開会中、生中継がご覧になれます。
また、過去の録画中継もご覧になれます。



市議会ページ

文化活動を支えるのか。

問 文化活動を、市としてどう位置づけ、支援するのか。

答 吹奏楽などの文化活動は、子どもの感性や協調性を育み、地域の文化振興、多世代交流につながる重要な活動と考えている。地域における自立的な活動ができるよう、公共施設や学校開放施設の利用など環境を整えていく。

高額な楽器の購入・更新を、市が

文化活動の地域展開と支援は



たかす か けいじ 高須賀 啓治 議員



災害時の地元建設業者の役割について



重信中学校吹奏楽部による産業まつりでの演奏

問 楽器の送迎の補助は難しいが、鑑賞機会の提供は、検討の余地はある。（教育委員会事務局長）

答 現時点では、新たな補助金の創設は検討していない。

問 鑑賞機会の助成は。

答 楽器の送迎の補助は難しいが、鑑賞機会の提供は、検討の余地はある。（教育委員会事務局長）

問 社会教育費として継続的に予算をつける考えは。

答 現時点では、新たな補助金の創設は検討していない。

問 鑑賞機会の助成は。

答 現時点では、新たな補助金の創設は検討していない。

令和7年度の公共工事について、市内業者と市外業者の受注状況は。

答 少額の随意契約案件を除いた総件数109件、45億727万6804円のうち、市内業者は47件、10億9206万2178円。市外業者は62件、34億1521万4626円。今後は分離・分割発注の検討など発注方法を工夫し、市内業者の受注機会の確保に取り組む。

問 地域防災力を支える地元建設業者をどう維持・育成するのか。

答 受注機会の確保など発注体制の整備を行うとともに、定期的な緊急連絡体制の確立を実施するなど、地元建設業者との連携を強化していく。また、防災訓練への参加促進や防災等の講習会の情報の共有など、関係性構築に努めていく。（危機管理課長）

川内健康センターの 今後と利用環境は



わたなべ かずえ
渡部 一恵 議員



問 川内健康センターを今後どのような施設として位置づけ、どのような役割を持たせていく考えか。

答 現在、関係課と協議中で、現時点ではお答えできない。利用しやすい施設の使い方を含め検討する。

問 サードプレイスを1階の空きスペースに移転することで、車椅子利用者等も安心して利用できる施設にできないか。



連日多くの利用がある
サードプレイスふれあい

答 集団健診や相談で使用するため、今年度の1階移転は難しい。今後の施設利用と併せて検討する。（健康推進課長）

問 健康センターやサードプレイスの今後について、不安を感じている利用者へどのように説明・周知していくのか。

答 今年度末までは、使っていたり、方針が出るまで、皆さんの意見を聴きながら方向を定めていきたい。（市長）

問 高齢者の移動支援は居場所へ行きたくても自力で行くことが難しい高齢

者等への移動支援について、市の役割は。

答 市が直接移動手段を提供することは慎重に見極める。公共交通を適切に運行し、移動困難者へのタクシー助成等も検討する。

問 市や社協の車両・人材を生かし、「お迎えバス」のような送迎を小規模に始められないか。

答 社協車両をイベント送迎に活用することは、運転手の確保や予算等の課題はあるが可能な範囲で検討したい。（長寿介護課長）

問 「健康日本一」を目指す本市として、心の健康、人とのつながり、外出の楽しみをどう支えるか。

答 「歩く・食べる・しゃべる」を続け交流することは大切と考えている。移動手段については、いろいろなやり方を検討していきたい。（市長）

災害に強い避難所と 防災体制を



もり た かずゆき
森田 和幸 議員



問 県の最新地震被害想定に基づく本市の被害数値と、市民への公表は。

答 市ホームページへの掲載を検討。公表時期は「東温市地域防災計画」の改訂に合わせて公表する。

問 避難所整備強化事業の投資を生かす震度感知式キーボックスのモデル導入は。

答 震度感知式キーボックスは、震度5強以上の地震発生

時に自動的に解錠され、避難所の迅速な解錠手段と認識。今後は、DXを活用した集中管理・遠隔システムなど最新の手法を含め、幅広い視点から総合的に調査・研究を行う。

問 水、トイレ、電源等を「何人×何日」で備えているのか、体育館空調稼働状況は。

答 飲料水1人1日3ℓ、食料1人1日3食の3日分を基本とし、想定避難者数に合わせた計画的な備蓄を実施。携帯用トイレや乳幼児、女性用品、高齢者・障害のある方への用品等も3日分を確保できるように整備・備蓄を進める。非常用電源については、可搬式の発電機や蓄電池を各施設1台以上配備するよう努める。

体育館空調は、冬季の最大負荷がかかる条件で、最大24時間×3日となっている。（危機管理課長）



災害時に備え、離乳食や衛生用品、介護用おむつなど

問 令和3年度以降、ドローンの保有・運用、人材、民間協定、訓練の整備状況は。

答 消防本部に1機導入、操縦資格者10人を養成。民間協定事業者と実動訓練を10回実施。今後は資格者の技術向上を図り、民間協定事業者との連携強化に努める。

問 消防団員、民間事業者、市民等による地域防災ドローン隊と人材育成支援は。

答 令和8年度から消防団員のドローン隊発足を計画。市民・民間事業者の組織化や人材育成支援は現時点では困難と考える。（消防長）

ただちに小学校給食費の 完全無償化を



こじま けんぞう
小島 建三 議員



問 国の給食費負担軽減交付金で不足分を保護者負担としているのは、県内で東温市だけである。国の重点支援地方交付金を活用するか、市独自財源を支出してただちに小学校給食費の完全無償化を行うよう求めるが、市の考えは。

県内では来年度、9つの自治体が中学校給食費の完全無償化を実施する。東温市も中学校給食費の完全

無償化に踏み出す考えはないか。

答 学校給食費は保護者が負担するという学校給食法を考えに基づき、基準額を超える部分は引き続き保護者にご負担いただく。中学校給食費の無償化のためには多額の財政負担が継続して生じるため、無償化は行わず、保護者にご負担いただく。（学校給食センター所長）

問 北吉井、南吉井、川上小学校以外の6小中学校の各体育館へ「空調設備・エアコン」「飲料水兼用耐震性水槽」「マンホールトイレシステム」の設置を急ぐべきだが、市の考えと設置計画は。

答 令和14年度を目途に小中学校体育館への空調整備、トイレシステムの設置を実施する計画としている。飲料水兼用耐



南吉井小学校に設置された
飲料水兼用耐震性水槽

震性貯水槽については、財政状況等を考慮しながら状況に応じて整備を行いたい。（危機管理課長）

問 高年齢者の交通・移動の権利を保障するためにタクシーは重要な手段だと考える。タクシー利用助成制度の検討状況は。

答 タクシーの有効活用について、令和9年度より実証実験を行う予定。通常のバス路線の運賃程度に負担が抑えられるようなタクシー利用助成券を考えている。（都市整備課長）

AI 活用で市民サービス 向上と委託料縮減を



はまだ るか
浜田 瑠華 議員



問 現在活用しているAIのツール名と年間運用費用は。

答 アミボイスが118万8千円、ジェミニが58万4千100円。

問 計画策定の委託料は高額である。AIを利用、職員主導でできないか。委託料削減見込みと目標は。

答 調査・研究段階で、現時点で見込みはない。数値目標の設定も未定である。（企画財政課長）

問 AI活用で人的リソースに余裕が生まれるなら、人材確保の観点から週休3日制等の柔軟な働き方も重要。職員へのニーズ調査は。

答 実施していない。（市長公室長）

問 タウンミーティングの実績と市民・職員の声を。

答 直近3年で行政別は20件開催。区別は実績なし。

問 行政区別の地区・回数の拡充は。

答 未開催15地区への働きかけを優先し、2回目を希望する行政区の相談にも応じる。

問 区長も大変忙しいので、区長を通さず市民や団体等が直接申し込める仕組みは。

答 個人からの申請受付は考えていない。世代別での申請を相談してほしい。



タウンミーティングの様子

問 オンライン参加など参加しやすい仕組みは。

答 現時点では対面開催を基本としている。

問 オープンミーティングの研究は。

答 現時点で研究は行っていない。

問 組織改編に当たり個別の意見聴取は。

答 職員一人ひとりからの意見聴取はしていない。

問 職員提案制度や表彰制度の活用は。

答 近年実績はない。今後、制度の周知に努める。（市長公室長）

巨大地震などの大規模災害への備えを十分に



わたなべ ゆうじ 議員
渡部 勇次 議員



問 27か所の指定避難所におけるエアコンの設置状況と今後の計画は。

答 21施設で設置されており、設置率は約78%である。小中学校の体育館は、令和14年度までに設置完了予定である。ツインドーム重信については、大きな空間に対する適切な空調設備の在り方や、導入に向けた調査研究を進める。

問 今後の物資の備蓄計画は。

答 発災時における避難者のプライバシー保護や良好な居住環境の確保に向け、プライベートメント等の備蓄数の拡充が重要な課題である。予算調達を通じて計画的に進めていく。（危機管理課長）



簡易型避難テントの備蓄

問 東温スポーツフィールド（CROXSPO東温）を生かした観光地域づくりの推進を、整備計画の周知と地域連携の在り方は。

答 令和9年度のオープンに向け、県内メディアと連携し、特集記事やホームページへの詳細情報の掲載、SNS等を用いた情報提供など、段階的に多様な媒体で

発信する予定である。愛媛FCと協定を締結するとともに、今後は地元企業への協賛・連携の募集を行い、継続的な連携関係の構築につなげたい。（都市整備課長）



交流拠点施設の建設工事

問 文化財の保存と活用の方角性は「文化財保存活用地域計画」の策定を。

答 幅広い分野の調査や調整を要することから、直ちに新たな計画を策定することは難しい。既存の指定・登録文化財の適切な維持保全を着実に進めるとともに、他自治体での策定状況や運用効果等について情報収集に努める。（生涯学習課長）

文化会館建設検討委員会の設置は



あいほら まちこ 議員
相原 真知子 議員



問 文化会館建設検討委員会の設置を求める署名が提出されたことについて、市長の見解は。

答 署名も出されたことから、市の職員も加わる任意の委員会を立ち上げていただき、情報収集することも一案と考えている。（市長）

問 令和7年度組織機構改革において企画政策課と財政課を統合した後のメリット、デメリットは。

答 メリットは、総合計画に基づいた効果的な予算配分が可能となり、市民サービスの向上につながる点。デメリットは、「相互チェック機能の低下」や「政策の硬直化」が挙げられるが、現段階では支障はない。（市長公室長）



未来を照らす場所をこの街に

問 お世話人の役割と運営体制は。

答 民生児童委員やボランティアが中心となり、月1〜2回企画や当日の運営を行っている。

問 外出行事の時の交通手段は。

答 年3回を限度に社会福祉協議会

法改正に伴う本市地域公共交通施策の考えは



たかす かひろいち 議員
高須賀 広一 議員



問 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律の成立に伴う既存公共交通事業者以外の検討は。

答 第2次東温市公共交通計画においては、既存の移動手段が持つ特徴を活かした効率的な公共交通網に再編し、市民の移動ニーズとのミスマッチの解消を図りたいと考えており、現時点における別の事業者の参入についての検討予定はない。（都市整備課長）



重信川河川敷（県道森松重信線から）

問 横河原橋から見奈良大橋の間の整備等に関する管理者への要望は。

答 除草や不要な樹木の伐採により景観を良くすること、ごみを捨てにくくする環境づくりは必要と考えるため、管理者の県に対して除草等を要望していく。（建設課長）

問 職員の指導体制と研修状況等について

答 ①若手職員の悩みや事務処理上の問題の把握、指導に関する課内・部内の体制は。

②今年度の研修方針及び研修計画と前年度の研修実績及び研修成果の検証は。

①業務の基本となる報告・連絡・相談の徹底について日頃指導し、問題や課題が生じた際には、市長公室人事係へ相談できる体制を整えている。

事務処理上の問題が発生した場合の原因分析や指導等の体制については、発生原因を追究した上で業務手順等を見直し、日常業務の点検・確認作業を強化している。

②既存の研修方針に基づき年間研修計画を作成し、計画的に実施している。前年度の研修実績は、キャリア形成支援4件、愛媛県研修所での役職別研修6件、専門研修7件、市開催研修7件である。

研修成果の検証はないが、報告書の作成を通して一定の効果はあると考えている。（副市長）

表紙の紹介

9月13日、見奈良のクールスモール内駐車場にて、第19回東温市商工会産業まつりが開催されました。市内のさまざまな事業者の出店に対し、多くの来場客があり、賑わいを見せました。商工会の合併を期に始まった産業まつりも毎年この時期の風物詩となりました。今年も市内の商工業に携わる方々の、元気なエネルギーを感じることができました。



実行委員長
さくらだ なおみ
櫻田 直也 さん

多くの方のご来場、ありがとうございました。



宮の段プレイス
ひろせ なおみ
廣瀬 直 さん

事業者同士の交流も深めることができました。



おもしろ けいた
大森 敬太 さん

たくさんのお店があつて最高でした。



「いつか」ではなく「元気な今」から始めよう！

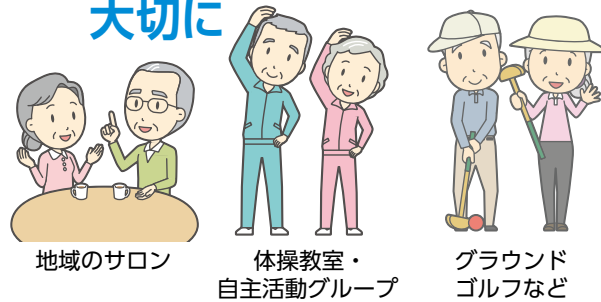
介護予防

1 生活習慣を整える



ポイント しっかり食べて、よく眠り、口の健康を保つことが、元気な体づくりの基本です。

3 人との交流・社会参加を大切に



ポイント 「外に出て、人と会う」機会を持つことが、介護予防につながります。

5 かかりつけ医・かかりつけ薬局を持つ

ポイント 体調や薬について、気になることがあれば、早めに相談しましょう。

2 運動を生活の中に取り入れる



ポイント 無理をせず、自分の体力に合わせて継続しましょう。

4 健康診査を受ける



ポイント 定期的なチェックで、病気の予防や重症化を防ぎましょう。



♥ ひとりで悩まず、まずはお気軽にお電話ください。♥

お問い合わせ
ご相談は

東温市地域包括支援センター
☎089-955-0150

秘密厳守

相談無料

※今回の掲載におきましては、長寿介護課と東温市地域包括支援センターのご協力をいただきました。

4月17日の議会報告会で「介護予防」をテーマに取り上げました。
介護が必要な状態になることを防ぎ、いつまでも自分らしく、いきいきと暮らしていただくことがたいせつです。
文教市民福祉委員会では、地域でのつながりや支え合いの中で、市民のみなさまの「元気な暮らし」を応援していきます。

初期認知症チェックリストは議会だより84号以降に掲載します。
ご自身やご家族のきづきのきっかけに、ぜひ活用ください。



いつまでも自分らしく
住み慣れた東温市で

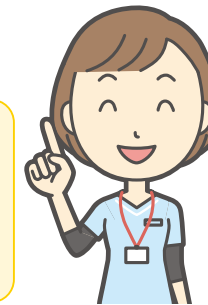
文教市民福祉委員会 委員長 大西 正之

東温市地域包括支援センターのご案内

高齢者の方が住み慣れた東温市でその人らしい生活を送るために設置された相談窓口です。

もしかして、認知症・・・？
どうしたらいいの

認知症初期集中支援チーム・東温交流カフェきらきら・認知症家族のつどいなどの取り組みを行っています。



認知症は「早期発見・早期対応」が大切です。

医師を含む医療職・福祉職の専門チーム「認知症初期集中支援チーム」がサポートします。
抱え込まずに、まずはご相談ください。

介護予防に
取り組みたい！

運動・栄養・口腔ケア・社会参加など、元気づくりを応援します。



介護保険サービスを利用したいけれど
手続きがよく分からない

申請のサポートやサービスの利用方法をご案内します。



家族の介護のことで
悩んでいる

介護の悩みや不安と一緒に考え、必要な支援につなげます。家族のつどいや相談も行っています。



地域包括支援センターは、こんな活動もしています！



介護・福祉・医療などの総合的な相談



高齢者の権利を守る
(虐待防止・消費者被害防止など)



地域の支え合い・ネットワークづくり



介護予防の普及啓発や出前講座の実施



人シリーズ

東温を起点に モノづくりで 世界とつながる

株式会社コスモ精機

代表取締役

松原 まつばら

正幸(則之内)



弊社は、1991年に東温市で創業し、37期目を迎えるプラスチック超精密金型の製造企業です。

2007年には、自社商品を作りたいという創業者の思いと社員からの提案をきっかけに、ダーツ製品のメーカー事業を開始しました。発案者は弟の弘明で、海外製中心だった当時の市場に対し、高品質な国産ダーツを作りたいという思いから始まりま

した。既存設備を生かして開発を進め、独自のフィットフライトシステムでは特許を取得し、現在は世界50カ国で販売しています。そのフライトに桜をあしらったダーツセットが、さくらセレクトに認定されました。今後もモノづくりの基盤を生かした創造からの雇用拡大やダーツを通じた交流など地域に貢献してまいります。



SAKURA select 選定品
東温ダーツセット



12月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4 開会 総務・文教 委員会	5
6	7	8 一般質問	9 一般質問	10	11 質疑 予算委員会	12
13	14 調査日 (総務)	15 調査日 (文教)	16 総務委員会 分科会	17 文教委員会 分科会	18	19
20	21	22	23 予算委員会	24 閉会	25	26

本会議 議場での会議

※総務委員会は、総務産業建設委員会
文教委員会は、文教市民福祉委員会を略して記載

議会インターネット 中継

市のホームページで議会開会中、生中継がご覧になれます。
また、過去の録画中継もご覧になれます。



東温市
イメージキャラクターいのとん



市議会ページ

過去の議会だよりが
こちらからスマホで読めます。



議会だよりの一覧

編集後記

今夏発生しました地震及び豪雨災害により被災された地域の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本号では、4月に開催された議会報告会において、テーマとして取り上げました「介護予防」について、特集記事を組みました。市民の皆様がいつまでも安心して元気に暮らしていくために、日常生活の中で無理なく続けられる介護予防の方法について、今後とも情報発信に取り組んでまいります。

(高須賀 広二)

- 発行責任者 亀田 尚之
議会だより編集委員会
委員長 永井 大介
副委員長 大西 良也
委員 渡部 一恵
委員 安井 浩二
委員 小島 建三
委員 高須賀 広一
委員 森田 和幸
委員 高須賀 啓治
委員 浜田 瑠華